

2020年度

事業報告書

特定非営利活動法人 日本ASL協会

1 事業の成果

社会教育事業は、[] 招聘講師が1年間ASLクラスを担当した。2020年2月から始まった新型コロナウイルス拡散の影響があり、春期クラスを通常通り実施できるか先を見通せない状況が続いたため、対面からオンラインクラスに変更した。テキストも従来使用していた Signing Naturally シリーズからオンラインテキスト True-Way ASL に変更した。開講したASLクラス数は募集10のところ5クラスにとどまり、申込受講生70名程の申し込みが35名に減少した。秋期クラスはオンラインクラスとして全国に向けて募集を行い、7クラス開講した。北海道から九州まで全国各地から受講生が集まったことは良かった。ASLクラスとは別に、学んだASLを使って楽しく会話練習をする時間として ASL Lounge を土曜日月1回で実施、2016年度講師の [] に依頼した。

国際手話講座は、クラス回数が少なかったため、開講を7月にずらして開講した（16名）。当初は対面で行ったが、新型コロナウイルスが再度拡散したため、後半はオンラインに変更となった。ここ数年同様、入門、中級Ⅰ、中級Ⅱと3コースを実施した。会場は対面の間は、広い部屋を準備するため飯田橋にある東京ボランティア・市民活動センターの会議室を借りた。無料でwifiもあり、事務所に近いので利用しやすかった。国際手話講座は日本人が教えているため、外国人ろう者と国際手話で会話をする機会を作るために、国際手話ができる [] 講師や [] の友人（スペイン人ろう者）を1回ずつゲストとしてお招きした。

[] は大学でITを専攻したことから、知識や技術を持っており、講座事業をけん引した。

交流啓発事業は、例年、招聘講師たちの海外での経験及び実績を基に企画している。2020年度はすべての企画をオンラインで実施したため、講演会などの大掛かりな企画は行わず、ワークショップやチャットサロンといった少人数の企画にとどめた。また、[] 講師の勤務契約が延長されたため、さよなら講演会、パーティは実施しなかった。

東京都外国語手話普及促進事業は2019年度で終了するところ、半年延期された。4月当初オンライン形式は助成対象との通達だったので、受講生に事情を説明し、了解をもらったうえで、クラスを実施したところ、緊急事態宣言が5月末まで延長されたため、オンライン形式も対象になり、申請可能になった。

通訳派遣事業は、4件の講師派遣依頼、9件の通訳派遣依頼があった。通訳派遣もオンラインでの通訳がめだった。

国内外の各種団体との連絡調整及び協力事業は、例年行っているダスキン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業は実施されなかった。

日本財団助成事業では、帰国奨学生第14回帰国報告会をオンラインで開いた。第17期の留学奨学生の募集は一時募集を見合わせたが、時期を延期して行った。

認定NPO法人障害者放送通信機構のろう、難聴者向けのテレビ番組「目で聴くテレビ」で []

講師のワンポイントASLが9月から2月まで放送され、全国へのASL普及、協会PRに役立った。

コロナ禍による減収は国や東京都などによる助成金で補填した。

収益事業は行わなかった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 23,833 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
外国手話に関する各種の講演会、研修などの社会教育	米国からの招聘ASL講師によるASL常設講座など	4月1日 ～ 3月31日	主にオンライン・事務所内教室、東京ボランティア・市民活動センター	7人	講座生	延べ 1,332人	6,320
	各種講座で使用するテキストの紹介	4月1日 ～ 3月31日	主にオンライン・事務所	3人	講座生	延べ 1,332人	
	国際手話講座 (入門、中級Ⅰ、中級Ⅱ)	4月1日 ～ 3月31日	主にオンライン・事務所内教室、東京ボランティア・市民活動センター	7人	講座生	延べ 550人	
国内外の聴覚障害者の生活全般について情報交換及び交流などを行なう啓発	ASLや海外のろう者事情に関する講演会及びワークショップ・交流会など	4月1日 ～ 3月31日	主にオンライン・事務所	5人	会員、講座生、及び希望者(全国)	延べ 114人	449
	会報発行による情報提供や相談受付 ホームページやEmailによる情報提供	年6回 No1 5月 No2 7月 No3 8月 No4 10月 No5 12月 No6 2月	主に事務局	7人	会員、講座生 *ホームページ、事務所ブログ閲覧者：不特定多数 *フェイスブック、及びツイッターフォロワー：合計3,795名	114人	
国内外における手話通訳及び講師の養成、派遣	国内外にASL／日本手話通訳派遣、及びASL指導などのための講師派遣(合計15件)	主なもの					594
		実施月	依頼団体	派遣人数	対象者数		
		6月、7月 9月	米国団体	3人	3人		
		7月、1月	日本企業	2人	8人		
		11月～3月	筑波技術大学	1人	13人		
		3月	多摩市聴覚障害者協会	2人	20人		

国内外の各種 団体との連絡 調整及び協力	日本財団より助成を得 て、留学奨学生・奨学生 候補者選出、国内研修・ 留学サポート、帰国報告 会開催	4月1日 ～ 3月31日	日本財団 ビル、 事務所・ 教室	6人	海外留学 を希望す る聴覚障 害者ほか 関心があ る人 (全国)	不特定 多数	16,469
	東京都 外国語手話普及促進 事業 (運営事業・助成事業)	4月1日 ～ 9月30日 (運営事業)	主に 事務所	3人	外国手話 習得や文 化に興味 がある方	不特定 多数	
		4月1日 ～ 9月30日 (助成事業)	主に 事務所	11人	講座生	春期延べ 51人	

2020年度 活動計算書（その他事業がない場合）

特定非営利活動法人 日本ASL協会

（単位：円）

科	目	金額	小計・合計
【A】 経常収益			
1 受取会費			346,000
正会員受取会費		140,000	
一般会員受取会費		152,500	
購読会員受取会費		51,000	
家族会員受取会費		2,500	
2 受取寄附金			220
受取寄附金		220	
3 受取助成金等			19,972,015
受取助成金（日本財団聴覚障害者海外奨学金事業）		14,421,409	
受取助成金（東京都外国語手話普及促進事業）		1,536,597	
受取助成金〔持続化給付金、東京都感染拡大防止協力金、 ゆめ応援ファンド特別助成〕		3,100,000	
受取助成金（家賃支援給付金、東京都家賃等支援給付金）		914,009	
4 事業収益			5,046,485
外国手話に関する各種の講演会、研修などの社会教育 事業収益		4,223,875	
国内外の聴覚障害者の生活全般について情報交換及び交流などを行なう啓発 事業収益		174,300	
国内外における手話通訳及び講師の養成、その派遣 事業収益		646,510	
国内外の各種団体との連絡調整及び協力 事業収益		1,800	
5 その他の収益			49,726
受取利息		64	
雑収入		49,662	
経常収益計			25,414,446
【B】 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			2,162,466
従業員給料		1,284,000	
法定福利費		755,552	
福利厚生費		72,900	
通勤費		50,014	
(2) その他経費			21,671,278
テキスト輸入		197,631	
招聘講師採用手当		0	
講師・招聘講師手当		3,643,178	
通訳料		161,250	
印刷製本費		13,024	
宣伝広告費		336,500	
会議費		1,298	
食糧費		2,641	
旅費交通費		86,683	
通信運搬費		85,375	
消耗品費		62,143	
修繕費		0	
水道光熱費		0	
地代家賃		1,069,232	

賃借料	0	
支払手数料	5,688	
日本での留学支援費	506,754	
海外での留学支援費	10,250,317	
留学支援事務経費	3,664,338	
外国語手話講習会助成事業費	587,300	
外国語手話講習会運営事業費	949,297	
雑費	48,629	
事業費計		23,833,744
2 管理費		
(1) 人件費		1,150,711
役員報酬	70,000	
役員給料	20,000	
従業員給料	601,800	
法定福利費	72,119	
福利厚生費	374,289	
通勤費	12,503	
(2) その他経費		1,518,349
宣伝広告費	6,000	
交際費	14,150	
会議費	0	
旅費交通費	3,350	
通信運搬費	180,604	
消耗品費	50,929	
修繕費	0	
水道光熱費	43,454	
地代家賃	458,244	
減価償却費	2,394	
保険料	25,150	
租税公課	468,200	
支払手数料	257,665	
雑費	8,209	
管理費計		2,669,060
経常費用計		26,502,804
当期経常増減額【A】－【B】・・・①		-1,088,358
【C】経常外収益		
固定資産売却益		0
過年度損益修正益		0
経常外収益計		0
【D】経常外費用		
固定資産売却損		0
災害損失		0
過年度損益修正損		0
経常外費用計		0
当期経常外増減額【C】－【D】・・・②		0
税引前当期正味財産増減額①+②・・・③		-1,088,358
法人税、住民税及び事業税・・・④		0
前期繰越正味財産額・・・⑤		16,708,160
次期繰越正味財産額③－④+⑤		15,619,802

2020年度 貸借対照表

特定非営利活動法人 日本ASL協会

(単位：円)

科	目	金額	小計・合計
【A】 資 産 の 部			
1	流動資産		
	現金預金	37,178,360	37,672,242
	未収金	376,692	
	前払金	22,190	
	棚卸資産	95,000	
	流動資産合計・・・①		37,672,242
2	固定資産		
	(1) 有形固定資産		9,578
	器具備品	9,578	
	(2) 無形固定資産		23,000
	電話加入権	23,000	
	(3) 投資その他の資産		6,452,560
	敷金	952,560	5,500,000
	預金	5,500,000	
	固定資産合計・・・②		6,485,138
【A】 資 産 合 計 ①+②			44,157,380
【B-1】 負 債 の 部			
1	流動負債		
	未払金	27,203,530	28,537,578
	前受金	1,228,100	
	預り金	105,948	
	流動負債合計・・・③		28,537,578
2	固定負債		
	固定負債合計・・・④		0
負 債 合 計 ③+④			28,537,578
【B-2】 正 味 財 産 の 部			
	前期繰越正味財産額		16,708,160
	当期正味財産増減額		-1,088,358
正 味 財 産 合 計			15,619,802
【B】 負 債 及 び 正 味 財 産 合 計 【B-1】 + 【B-2】			44,157,380

2020年度 計算書類の注記

事業報告用

特定非営利活動法人 日本ASL協会

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正、NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

繰越商品は、最終仕入原価法で評価しています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却の方法は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却しています。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業別損益の状況

(単位:円)

科目	社会教育 事業	交流・啓発 事業	通訳・講師 派遣事業	その他事業	事業部門計	管理費	総計
I 経常収益							
1. 受取会費					0	346,000	346,000
2. 受取寄附金					0	220	220
3. 受取助成金等				19,058,006	19,058,006	914,009	19,972,015
4. 事業収益	4,223,875	174,300	646,510	1,800	5,046,485	0	5,046,485
5. その他収益	34				34	49,692	49,726
経常収益計	4,223,909	174,300	646,510	19,059,806	24,104,525	1,309,921	25,414,446
II 経常費用							
(1) 人件費							
役員報酬	0	0	0	0	0	70,000	70,000
役員給料	0	0	0	0	0	20,000	20,000
従業員給料	963,000	160,500	160,500	0	1,284,000	601,800	1,885,800
法定福利費	216,357	36,059	36,059	467,077	755,552	72,119	827,671
福利厚生費	58,500	7,200	7,200	0	72,900	374,289	447,189
通勤費	37,510	6,252	6,252	0	50,014	12,503	62,517
人件費計	1,275,367	210,011	210,011	467,077	2,162,466	1,150,711	3,313,177
(2) その他経費							
テキスト輸入	197,631	0	0	0	197,631	0	197,631
講師・招聘講師手当	3,375,833	53,016	214,329	0	3,643,178	0	3,643,178
通訳料	0	0	161,250	0	161,250	0	161,250
印刷製本費	8,350	4,674	0	0	13,024	0	13,024
宣伝広告費	336,500	0	0	0	336,500	6,000	342,500
交際費	0	0	0	0	0	14,150	14,150
会議費	0	0	1,298	0	1,298	0	1,298
食糧費	1,827	0	814	0	2,641	0	2,641
旅費交通費	80,847	0	5,836	0	86,683	3,350	90,033
通信運搬費	62,874	21,881	620	0	85,375	180,604	265,979
消耗品費	58,594	3,549	0	0	62,143	50,929	113,072
修繕費	0	0	0	0	0	0	0
水道光熱費	0	0	0	0	0	43,454	43,454
地代家賃	916,490	152,742	0	0	1,069,232	458,244	1,527,476
賃借料	0	0	0	0	0	0	0
租税公課	0	0	0	0	0	468,200	468,200
減価償却費	0	0	0	0	0	2,394	2,394
保険料	0	0	0	0	0	25,150	25,150
支払手数料	5,688	0	0	0	5,688	257,665	263,353
日本での留学支援費	0	0	0	506,754	506,754	0	506,754
海外での留学支援費	0	0	0	10,250,317	10,250,317	0	10,250,317
留学支援事務経費	0	0	0	3,664,338	3,664,338	0	3,664,338
外国語手話講習会助成事業費	0	0	0	587,300	587,300	0	587,300
外国語手話講習会運営助成事業費	0	0	0	949,297	949,297	0	949,297
雑費	500	3,585	0	44,544	48,629	8,209	56,838
その他経費計	5,045,134	239,447	384,147	16,002,550	21,671,278	1,518,349	23,189,627
経常費用計	6,320,501	449,458	594,158	16,469,627	23,833,744	2,669,060	26,502,804
当期経常増減額	-2,096,592	-275,158	52,352	2,590,179	270,781	-1,359,139	-1,088,358

3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

(単位: 円)

内容	金額	算定方法
な し		

4. 使途等が制約された寄附金等の内訳

使途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。

当法人の正味財産は15,619,802円ですが、そのうち3,891,146円は、下記のように使途が特定されています。

したがって使途が制約されていない正味財産は11,728,656円です。

(単位: 円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
日本財団聴覚障害者 海外奨学金事業	0	14,421,409	14,421,409	0	助成金の総額は41,380,000円。当期の活動計算書に計上した額14,421,409円との差額は未払金として貸借対照表に計上しています。
東京都外国語手話 普及促進事業	0	1,536,597	1,536,597	0	
外国手話地域振興 基金	4,012,112	34	121,000	3,891,146	
合計	4,012,112	15,958,040	16,079,006	3,891,146	

5. 固定資産の増減内訳

(単位: 円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
器具備品	554,000			554,000	544,422	9,578
無形固定資産						
電話加入権（事務所電話）	23,000			23,000	0	23,000
投資その他の資産						
敷金（事務所賃貸）	952,560			952,560	0	952,560
定期預金	5,000,000			5,000,000	0	5,000,000
合計	6,529,560	0	0	6,529,560	544,422	5,985,138

6. 借入金の増減内訳

(単位: 円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
な し				
合計				

7. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位: 円)

科目	計算書類に 計上された 金額	内、役員と の取引	内、近親者 及び支配法 人との取引
(活動計算書)			
な し			
活動計算書計			
(貸借対照表)			
な し			
貸借対照表計			

8. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状況並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

・ 事業費と管理費の按分方法

各事業の経費および事業費と管理費に共通する経費は従事割合に基づき按分しています。

2020年度 財産目録

特定非営利活動法人 日本ASL協会

(単位：円)

科 目	金 額	小 計	合 計
【A】 資 産 の 部			
1 流動資産			
現金預金		37,178,360	37,672,242
手元現金	1,859,606		
三井住友銀行 普通預金 1口座	2,650,760		
三菱UFJ銀行 普通預金 2口座	331,472		
みずほ銀行 普通預金 2口座	27,054,318		
ゆうちょ銀行 普通預金 2口座	5,282,204		
未収金		376,692	
前払金		22,190	
棚卸資産		95,000	
流動資産合計・・・①			37,672,242
2 固定資産			
(1) 有形固定資産			9,578
器具備品		9,578	
パソコン1台、プロジェクター1台、テレビ電話1台	9,578		
(2) 無形固定資産			23,000
電話加入権		23,000	
事務所電話	23,000		
(3) 投資その他の資産			6,452,560
敷金		952,560	
事務所賃貸	952,560		
預金		5,500,000	
ゆうちょ銀行定期預金	5,500,000		
固定資産合計・・・②			6,485,138
【A】 資 産 合 計 ①+②			44,157,380
【B-1】 負 債 の 部			
1 流動負債			
未払金		27,203,530	28,537,578
協会事業	141,494		
日本財団聴覚障害者海外奨学金事業	27,062,036		
前受金		1,228,100	
2020年度 会費	114,000		
2020年度 受講料	1,114,100		
預り金		105,948	
源泉徴収税・住民税3月分	43,074		
社会保険料3月分	62,874		
流動負債合計・・・③			28,537,578
2 固定負債			
固定負債合計・・・④			0
【B-1】 負 債 合 計 ③+④			28,537,578
【B-2】 正 味 財 産 合 計 【A】 - 【B-1】			15,619,802

2020年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人 日本ASL協会

1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

- ☒以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）
- ☒各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

2 役員一覧

	役名 どちらかに○	(フリガナ) 氏名	住所又は居所	前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
1	○ 理事・監事	オサキ ユカ		2020年 4月 1日	2020年 4月 1日
		大杉 豊		2021年 3月 31日	2021年 3月 31日
2	○ 理事・監事	アヤマ ナ		2020年 4月 1日	年 月 日
		秋山 奈巳		2021年 3月 31日	年 月 日
3	○ 理事・監事	オタ タマ		2020年 4月 1日	年 月 日
		太田 琢磨		2021年 3月 31日	年 月 日
4	○ 理事・監事	タカ クミ		2020年 4月 1日	年 月 日
		高草 久美子		2021年 3月 31日	年 月 日
5	○ 理事・監事	タケ タチ		2020年 4月 1日	年 月 日
		武田 太一		2021年 3月 31日	年 月 日
6	理事・○ 監事	タモ ヒロシ		2020年 4月 1日	2020年 4月 1日
		田門 浩		2021年 3月 31日	2021年 3月 31日
7	理事・監事			年 月 日	年 月 日
				年 月 日	年 月 日
8	理事・監事			年 月 日	年 月 日
				年 月 日	年 月 日
9	理事・監事			年 月 日	年 月 日
				年 月 日	年 月 日
10	理事・監事			年 月 日	年 月 日
				年 月 日	年 月 日

社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人 日本ASL協会

	氏 名	住 所 又 は 居 所
1	大杉 豊	
2	秋山 奈巳	
3	太田 琢磨	
4	武田 太一	
5	高草 久美子	
6	田門 浩	
7	加藤 久夫	
8	西村 健司	
9	川口 聖	
10	後藤 啓二	
11		
12		